

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
1	あのやま 尾野山 (上田市)	横ホ-リング工 L=3,950m 水路工 L=940m 集水井工 N=5基 法面工 A=8,450m2 (工期:H22~H30)	観測調査設計 1式	集水井 1基	横ホ-リング工 L=3,950m 水路工 L=940m 集水井工 5基 法面工 A=8,450m2	評価時 (当初) H22	4.2%	計画どおり進んでいる。 H23年度に調査測量設計を行い、H24年度 に工事に着手する。	当地区は、保全対象 に、地域防災計画に 記載されている避難 所等非常に重要な施 設がある。平成21年 の豪雨により、公共施 設等に地すべり兆候 が見られるため、引き 続き対策を行う。	重要性が高く、必 要性も認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=6.40				
						重要性 A					
						効率性 B					
緊急性 B	住民参加状況等 水路の清掃等維持管理への協力がある。										
2	かいほ 開窪 (阿南町)	横ホ-リング工 L=5,600m 水路工 L=740m 集水井工 N=2基 (工期:H20~H25)	集水井 1基	横ホ-リング工 L=650m	横ホ-リング工 L=2,480m 集水井 1基 水路工 L=173m	評価時 (変更) H22	55.0%	引き続き対策工を行い、事業の進捗をはか る。	平成19年5月、平成 21年8月に地すべり災 害が発生しており、そ の周辺でも同様の変 状が見られるため、引 き続き対策を行う。	重要性が高く、必 要性、緊急性も認め られる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H19年度災害関連緊急対応箇所 H22変更 工法変更 1億3千8百万円増 工期延長2年 平成21年8月豪雨により新たに地すべり災害が発生し、その対 策を行うため、計画変更を行った。 B/C(費用対効果)=1.68				
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 水路の清掃等維持管理への協力がある。										
3	ひきの 引の田 (大鹿村)	横ホ-リング工 L=1,340m 集水井工 N=2基 (工期:H22~H27)	集水井 1基	集水井 1基	横ホ-リング工 L=1,340m 集水井 1基	評価時 (当初) H22	37.7%	計画どおり進んでいる。 H23年度に集水井1基を完成させ、引き続き 対策工を行い、事業の進捗をはかる。	当地区は、保全対象 に、地域防災計画に 記載されている避難 所、人家107戸が存在 するなど非常に重要 な施設がある。平成21 年の豪雨により、地す べり兆候が見られるた め、引き続き対策を行 う。	重要性が高く、必 要性、緊急性も認め られる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=2.70				
						重要性 A					
						効率性 B					
緊急性 A	住民参加状況等 水路清掃等維持管理への協力がある。										

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	しやうじ 社宮寺 〔松本市〕	法面工 A=1,000m ² 横杭・リング工 L=1,960m 水路工 L=602m 根止工 N=12基 〔工期：H21～H26〕	横杭・リング工 L=180m 水路工 L=169m	横杭・リング工 L=450m 水路工 L=14m 根止工 N=7基	法面工 A=1,000m ² 横杭・リング工 L=815m 水路工 L=14m 根止工 N=7基	評価時 (当初) H21	43.9%	計画どおり進んでいる。 引き続き対策工を行い、事業の進捗をはか る。 特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=2.07	地すべり兆候を示す 滑落崖が見られ、更 に地すべり活動が活 発化すると人家、県道 に被害を及ぼす恐れ があるため早急に地 すべり対策を実施す る必要がある。	重要性が高く、必 要性も認められる。	「継続」
						必要性 A	住民参加状況等 特になし。				
						重要性 A					
						効率性 A					
	2億1000万円	2705万6千円	2500万円	1億1784万4千円	緊急性 B						
5	かたやま 片山 〔松本市〕	集水井工 N=2基 水路工 L=56m 〔工期：H22～H26〕	集水井工 N=1基	集水井工 N=1 基	集水井工 N=2基 水路工 L=56m	評価時 (当初) H22	26.4%	引き続き対策工を行い、事業の進捗をはか る。 特記事項 H24変更 工期延長1年 B/C(費用対効果)=2.82	平成21年の豪雨で人 家直下に地すべり兆 候を示す滑落崖が見 られ、更に地すべり活 動が活発化すると人 家に被害を及ぼす恐 れがあるため早急に 地すべり対策を実施 する必要がある。	重要性が高く、必 要性も認められる。	「継続」
						必要性 A	住民参加状況等 特になし。				
						重要性 A					
						効率性 A					
	1億5000万円	2478万5千円	3300万円	1億1045万8千円	緊急性 B						
6	たかほぎ 高萩 〔安曇野市〕	吹付法砕工 A=1,590m ² アンカ工 N=40本 横杭・リング工 L=240m 〔工期：H23～H24〕	吹付法砕工 A=800m ² アンカ工 N=8本 横杭・リング工 L=90m	吹付法砕工 A=790m ² アンカ工 N=32本 横杭・リング工 L=150m	吹付法砕工 A=790m ² アンカ工 N=32本 横杭・リング工 L=150m	評価時 (当初) H23	51.2%	計画どおり進んでいる。 H24年度に対策工を行い、一部概成とした い。 特記事項 H22年度災害関連緊急対応箇所 特になし。 B/C(費用対効果)=1.05	平成22年7月の降雨 で地すべり災害が発 生し、災害ブロックの 対策を行なった。災害 発生箇所から近隣地 すべりブロックにおい ても地すべりの兆候 があり、保全対象に人 家53戸、避難路、重要 交通網と重要施設が あるため緊急性が高 く、引き続き対策工を 行い、平成24年度一 部概成を図る。	平成24年度で一部 概成を図る。	「継続」
						必要性 A	住民参加状況等 特になし。				
						重要性 A					
						効率性 B					
	1億6300万円	8338万5千円	2000万円	7961万5千円	緊急性 A						

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	たかはな 高鼻 〔安曇野市〕	横木'-リング工 L=2,000m 水路工 L=700m 〔工期：H21～H25〕	横木'-リング工 L=440m 水路工 L=135m	横木'-リング工 L=520m 水路工 L=70m	横木'-リング工 L=1,385m 水路工 L=79m	評価時 (当初) H21	44.2%	計画どおり進んでいる。 引き続き対策工を行い、事業の進捗をはかる。	地すべり兆候を示す 段差、湧水等が多く見 られ、地すべり活動が 活発化すると人家、重 要交通網等に被害が 及ぶことから引き続き 対策を行う必要がある。	必要性、重要性が 認められる。	「継続」
		1億5000万円	3401万円	5000万円	8375万6千円	必要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=3.49				
						重要性 A					
						効率性 B					
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。										
8	あおくら 大倉 〔生坂村〕	抑止杭工 N=58本 横木'-リング工 L=3,938m 法面工 A=2,500m2 水路工 L=2,314m 排土工 V=5,000m3 押盛土工 V=5,000m3 谷止工 N=2基 アソカ-工 N=33本 〔工期：H17～H26〕	横木'-リング工 L=620m	アソカ-工 N=33本 谷止工 N=1基	抑止杭工 N=24本 水路工 L=281m 谷止工 N=1基 アソカ-工 N=33本	評価時 (変更) H24	75.0%	新たな変状が発生した地すべりブロックにつ いて、H23年度に解析・設計を行い、工事に 着手したい。	平成16年に地すべり 災害が発生し、災害 発生箇所から近接地 すべり地と順次対策を 進めている。活発化す ると河川が埋塞し下流 に被害を引き起こす可 能性があり、平成23年8 月豪雨により新たな地 すべり活動がみられ たため、計画を拡大し 対策を行う。	新たな地すべりに 対する追加対策の必 要性が認められる。	「拡大」
		7億2074万2千円	7201万9千円	4500万円	1億8000万円	必要性 A	特記事項 H16年度災害関連緊急対応箇所 H24変更 事業費1億円増 工期1年増 平成23年5月の豪雨により、末端部押出しによる既設水路の変 形等新しい地すべりブロックの変状を確認し、アソカ-工等の対策 を行う必要が生じたため、計画を拡大して対策工を行う。 B/C(費用対効果)=1.24				
						重要性 A					
						効率性 C					
緊急性 A	住民参加状況等 ボランティアにより、水路や支障木の伐採を行っている。										
9	まさお 笹尾 〔大町市〕	水路工 L=1,393m 横木'-リング工 L=6,840m 集水井工 N=1基 法面工 A=118m2 連続繊維補強土工 A=1,470m2 排土工 V=9,560m3 谷止工 N=1基 〔工期：H17～H25〕	集水井工 N=1基	谷止工 N=1基 水路工 L=60m	横木'-リング工 L=935m 水路工 L=151m 谷止工 N=1基	評価時 (変更) H24	77.5%	Fブロックについて、H23年度に解析・設計 を行い、H24年度には工事に着手したい。	平成16年に地すべり 災害が発生し、災害 箇所に隣接するブロッ クを順次対策を行なっ ている。人家等が近接 している箇所であり、 地すべり活動が活発 化すると人家に被害 が生じる可能性がある ことから、引き続き 対策を行う。	新たな地すべりに 対する追加対策の必 要性が認められる。	「拡大」
		3億8000万円	2276万9千円	4000万円	8547万円	必要性 B	特記事項 H16年度災害関連緊急対応箇所 H24変更 近年の豪雨によりFブロックの沢の荒廃・浸食が激しく、新たな 地すべり活動を誘発・助長していることから、谷止工等の対策 を行う必要が生じたため、計画を拡大して対策工を行う。 B/C(費用対効果)=1.69				
						重要性 A					
						効率性 B					
緊急性 A	住民参加状況等 施設完成後の維持管理について、大町市及び地元と協議して いる。										

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策			補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
10	いし 市の瀬	横溝-リング工 L=6,298m 集水井工 N=3基 水路工 L=784m アソカ-工 N=12本 〔工期:H17～H25〕	集水井工 N=1基	横溝-リング工 L=90m アソカ-工 N=12本	横溝-リング工 L=90m アソカ-工 N=12本	評価時 (変更) H24	87.6%	新たな変状が発生した地すべりブロックについて、H23年度に解析・設計を行い、H24年度には工事に着手したい。	平成16年に地すべり災害が発生し、被災箇所、隣接ブロックと順次対策を進めている。避難場所である集会所がある等地すべり活動が活発するとそれらに被害が生じる恐れがあることから、引き続き対策を行う。	新たな地すべりに対する追加対策の必要性が認められる。予定工期内での概成を図る。	「拡大」
	〔大町市〕	3億2312万7千円	2834万円	2500万円	4000万円	必要性 B	特記事項 H16年度災害関連緊急対応箇所	緊急性 A			
11	おおほら 大洞	水路工 L=814m 横溝-リング工 L=9,060m 法面工 A=6,214m ² 根止工 N=7基 谷止工 N=6基 〔工期:H17～H24〕	水路工 L=94m 横溝-リング工 L=675m	水路工 L=94m 横溝-リング工 L=295m	水路工 L=94m 横溝-リング工 L=295m	評価時 (変更) H24	94.7%	Cブロックについて、H23年度に解析・設計を行い、H24年度には工事に着手し概完とした。	平成16年度に地すべり災害が発生し、被災箇所の対策を進めてきた。隣接するブロックにおいても地すべり兆候が見られるため、引き続き対策を行い、平成24年度概成を図る。	平成24年度での概成を図る。	「継続」
	〔大町市〕	4億1338万4千円	2767万円	2200万円	2200万円	必要性 B	特記事項 H16年度災害関連緊急対応箇所	緊急性 B			
12	すげくぼ 菅の窪	横溝-リング工 L=3,400m 水路工 L=1,000m 谷止工 N=2基 〔工期:H21～H27〕	調査測量設計 1式	横溝-リング工 L=1,000m	横溝-リング工 L=2,940m 水路工 L=907m 谷止工 N=2基	評価時 (変更) H24	30.8%	H23年度に新規ブロックを含めて解析・設計を行い、H24年度から谷止工に着手し、対策工を進めていく。	地すべり兆候を示す滑落崖や、歪計に大きな変状が見られ、更に地すべり活動が活発化すると河川を埋塞させ、下流人家等に被害を及ぼす恐れがあるため引き続き地すべり対策を実施する必要がある。	新たな地すべりに対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」
	〔大町市〕	2億2000万円	2433万5千円	3500万円	1億5213万8千円	必要性 B	特記事項 H24変更 工期3年増 平成23年に新たな地すべりが発生、市道に被害を及ぼし集落が孤立したことから、横溝-リング工等の対策を行う必要性が生じたため、計画を拡大して対策工を行う。	緊急性 A			

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
13	あいだうじ 相道寺 〔池田町〕	水路工 L=100m 横ボ-リング工 L=2,000m (工期:H23~H24)	水路工 L=50m 横ボ-リング工 L=1,000m	水路工 L=50m 横ボ-リング工 L=1,000m	水路工 L=50m 横ボ-リング工 L=1,000m	評価時 (当初) H23	49.4%	計画どおり進んでいる。 H22災害関連緊急工事が完了、今後は隣 接する新規ブロックの対策を進めていく。	平成22年に地すべり 災害が発生し災害ブ ロックの対策を行なっ た。災害発生箇所から 近隣地すべりブロック においても地すべりの 兆候があり、人家等が 近接していることから 対策工を行い、平成 24年度概成を図る。	平成24年度での概 成を図る。	「継続」
		6000万円	2966万3千円	3033万7千円	3033万7千円	必要性 A	特記事項 H22年度災害関連緊急対応箇所				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.66				
緊急性 A	住民参加状況等 H23に「相道寺砂防ボランティア」を発足し、地すべり防止区域 内の草刈りを行っていく予定。										
14	くらしな 倉下 〔白馬村〕	集水井工 N=6基 (工期:H23~H28)	観測調査設計 1 式	集水井工 N=1 基	集水井工 N=5基	評価時 (当初) H23	4.8%	計画どおりに進んでいる。 引き続き対策工を行い、事業の進捗をはか る。	平成21年7月の豪雨 で地すべりが発生し た。次期降雨により地 すべり活動が更に活 発化する可能性がある ことから、緊急性が 高い。	重要性が高く必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
		3億円	1326万2千円	3000万円	2億8550万円	必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。 B/C(費用対効果)=16.86				
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										
15	まえざわ 前沢 〔小谷村〕	集水井工 N=11基 横ボ-リング工 L=2,115m (工期:H21~H28)	集水井工 N=1基	集水井工 N=1 基	集水井工 N=10基 横ボ-リング工 L=1,660m	評価時 (当初) H21	22.7%	計画どおり進んでいる。 H23年度に集水井1基、H24年度でも集水 井1基を施工し事業進捗をはかる。	H20年度に湯沢川右 岸に地すべり性のク ラックが現れ、更に活 発化すると、下流の重 要交通網等に被害が 生じるおそれがあるた め、引き続き事業を実 施する必要がある。	重要性が高く必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
		10億円	1億40万5千円	9500万円	7億7289万3千円	必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。 B/C(費用対効果)=5.98				
						効率性 B					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策			補助・単独別		補助	建設部	砂防課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
16	ながさき 長崎 (小谷村)	横溝-リング工 L=6,450m 水路工 L=400m (工期:H21~H28)	横溝-リング工 L=1,600m 水路工 L=10m	横溝-リング工 L=2,000m 水路工 L=25m	横溝-リング工 L=3,750m 水路工 L=350m	評価時 (当初) H21	53.8%	計画とおりに進んでいる。 引き続き対策工を行い、事業の進捗をはかる。	平成18年の融雪により、地すべり活動が活発化しており、保全対象にある広域避難場所の中土観光交流センター及び県道が被災すれば中谷川上流の人家が孤立する可能性があるため引き続き対策を行う必要がある。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。 B/C(費用対効果)=2.47				
						効率性 B	住民参加状況等 特になし。				
17	こうみょう 光明 (小谷村)	法面工 A=1,575m2 水路工 L=370m アンカー工 N=12本 横溝-リング工 L=520m (工期:H21~H24)	アンカー工 N=12本	横溝-リング工 L=520m 水路工 L=95m	横溝-リング工 L=520m 水路工 L=95m	評価時 (当初) H21	75.3%	計画どおり進んでいる。 H23年度にアンカー法面工、H24年度には横溝-リング工を施工し概成させる。	平成21年2月に降雨により人家裏が崩壊している。また、地すべり活動も活発化しており、村道が被災すれば4戸の人家が孤立する可能性があるため引き続き対策を行う必要があり、平成24年度概成を図る。	平成24年度での概成を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。 B/C(費用対効果)=3.84				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
18	みついで 三ツ出 (長野市)	抑止杭工 N=15本 アンカー工 N=15本 横溝-リング工 L=4,700m 水路工 L=672m 法面工 A=460m2 集水井工 N=2基 (工期:H17~H26)	横溝-リング工 L=1,178m 集水井工 N=1基 水路工 L=10m	横溝-リング工 L=857m 水路工 L=70m	抑止杭工 N=15本 アンカー工 N=15本 横溝-リング工 L=1,300m 水路工 L=300m	評価時 (変更) H22	57.7%	H23年度にBブロックの対策を実施し、H24年度には引き続き対策工を行い、事業の進捗をはかる。	平成16年に地すべり災害が発生し、そのブロックの対策を実施しており、引き続き対策を行う。	予定工期内での概成を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H16年度災害関連緊急対応箇所				
						重要性 A	H22変更 工法変更 事業費1億6500万円増 工期2年増 H24変更 工期2年増				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.06				
						緊急性 B	住民参加状況等 対策後の地すべり防止施設の維持管理において、草刈りや水路清掃を行っている。				

分野	事業番号、事業名	11 地すべり対策			補助・単独別	補助	建設部	砂防課			
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
19	じつみやま 地附山 (長野市)	抑止杭工 N=76本 水路工 L=680m 法面工 A=820m2 横ホ'-リング工 L=3,767m (工期:H19~H27)	横ホ'-リング工 L=541m 水路工 L=80m	横ホ'-リング工 L=516m 水路工 L=275m	横ホ'-リング工 L=516m 水路工 L=275m	評価時 (当初) H19	76.0%	計画どおり進んでいる。 H23年度にJブロックの対策工を完成させ、 H24年度にBCブロックの対策工を完成させて、 G,Eブロックの対策工に着手したい。	H16・H18と地すべり 災害が発生し、対応し てきている。災害ブ ロック及びその周辺に も地すべりの兆候が 見られることから、引 き続き対策を行う。	必要性、重要性が 認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H16年度・H18年度災害関連緊急対応箇所				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.17				
	3億7072万2千円	2434万6千円	3900万円	8900万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
20	いしざくら 芋井桜 (長野市)	横ホ'-リング工 L=8,500m 集水井工 N=4基 水路工 L=600m (工期:H20~H27)	横ホ'-リング工 L=591m 水路工 L=10m	横ホ'-リング工 L=600m 水路工 L=30m	横ホ'-リング工 L=3,900m 集水井工 N=3基 水路工 L=500m	評価時 (変更) H23	62.5%	H23年度にCブロックの対策工を完成させ、 H24年度にはA-1、A-2ブロックの対策工を 進める。	平成19年10月に地 すべり災害が発生し、 H22年においても地す べりブロックが拡大し たため、早急な対策が 必要である。	重要性が高く、必 要性も認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H19年度災害関連緊急対応箇所				
						重要性 A	H23変更 工法変更 4千万円増 工期延長3年 H22豪雨により新たな地すべりが発生したため、集水井工1基、 横ホ'-リング工L=2,000を増とした。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=5.84				
	3億3890万円	2376万3千円	4000万円	1億2723万7千円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
21	こまどう 越道 (長野市)	横ホ'-リング工 L=9000m 水路工 L=550m 法面工 A=525m2 アソカ工 N=10本 (工期:H17~H26)	法面工 A=200m2 水路工 L=30m	横ホ'-リング工 L=1,155m	横ホ'-リング工 L=3,760m 水路工 L=196m	評価時 (当初) H17	64.3%	H23年度も引き続き法面工を実施し、H24年 度は新たなブロックに着手する。	災害履歴地であり、 災関ブロック周辺にお いても地すべりの兆候 が見られるため、引き 続き対策を行う必要 がある。 また、平成22年8月豪 雨により新たな地すべ りが発生し、それに伴 い対策が必要となった ため計画を見直した。	必要性、重要性が 認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H16年災害関連緊急対応箇所				
						重要性 A	H24変更 工期1年増				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.98				
	3億3200万円	2396万1千円	2400万円	1億1858万5千円	緊急性 B	住民参加状況等 施設管理について、地元住民の協力を得て、施設に異常が あった場合等は速やかに連絡がとれる体制を整えている。					

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策			補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
25	いちば 市場 (長野市)	排土工 V=24,080m ³ 法面工 A=2,333m ² 集水井工 N=2基 横溝-リング工 L=4,699m 水路工 L=1,033m アンカ-工 N=10本 (工期:H18~H24)	横溝-リング L=600m	横溝-リング L=790m 水路工 L=160m	横溝-リング L=790m 水路工 L=160m	評価時 (当初) H18	89.2%	計画どおり進んでいる。 H24年度は、引き続き対策工を行い、概完 としたい。	平成18年の台風により、地すべり活動が 活発化していることから 順次対策を行なっ てきており、引き続き対 策を行い、平成24年 度概成を図る。	平成24年度での概 成を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.29				
	4億614万1千円	2518万円	4400万円	4400万円	緊急性 B	住民参加状況等 市場地すべり対策委員を地元で組織化し、地すべりの監視や 施設維持活動を実施中。					
26	くらなみ 倉並 (長野市)	集水井工 N=3基 横溝-リング工 L=7,146m 水路工 L=2,000m (工期:H18~H25)	横溝-リング工 L=650m	横溝-リング工 L=650m 水路工 L=100m	集水井工 N=2基 横溝-リング工 L=3,250m 水路工 L=846m	評価時 (当初) H18	65.0%	計画どおり進んでいる。 引き続き対策工を行い、事業の進捗をはか る。	H18年度に地すべり 活動が活発化し、主 要地方道等の沈下が見 られるため、継続し て事業を実施する必 要がある。	必要性、重要性が 認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.28				
	3億6000万円	1745万4千円	3000万円	1億2605万8千円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
27	くりお 栗尾 (長野市)	集水井工 N=1基 横溝-リング工 L=6,800m 水路工 L=1,200m 法面工 A=1,900m ² (工期:H21~H25)	集水井 N=1基 水路工 L=200m 法面工 A=400m ²	集水井 N=1基 横溝-リング工 L=520m 水路工 L=40m 法面工 A=400m ²	集水井 N=1基 横溝-リング工 L=6,000m 水路工 L=900m 法面工 A=1,500m ²	評価時 (当初) H21	32.1%	計画どおり進んでいる。 H23年度は集水井工を施工し、H24年度は 横溝-リング工等を施工して事業の進捗をはか る。	平成20年の豪雨に より人家が沈下する 等地すべり活動が活 発化しているため、継 続して対策工を行う必 要がある。	重要性が高く、必 要性、緊急性が認め られる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.78				
	3億円	5026万4千円	3600万円	2億369万1千円	緊急性 A	住民参加状況等 地すべり変状を機に、地元住民の土砂災害に対する意識が高 まり、H21年には砂防維持ボランティアとして活動している。					

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策			補助・単独別		補助	建設部	砂防課	
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
34	きんのう 三王 〔長野市〕	横ホ'-リング工 L=6,274m 水路工 L=1,502m 谷止工 N=7基 〔工期：H18～H27〕	横ホ'-リング工 L=448m	横ホ'-リング工 L=455m 水路工 L=137m	横ホ'-リング工 L=455m 水路工 L=137m	評価時 (当初) H18	64.1%	計画どおり進んでいる。 H24年度では引き続き対策工を行い、事業の進捗をはかりたい。	地すべりブロック脚部の滑動による崩壊が著しく、拡大すると人家等へ影響が及ぶため、継続して事業を実施したい。	重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 B	特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.90				
	3億7706万2千円	1052万1千円	2000万円	1億3526万1千円	緊急性 A	住民参加状況等 水路工清掃の協働作業を行っている。					
35	みかの 三ヶ野 〔長野市〕	横ホ'-リング工 L=9,000m 水路工 L=2,100m 谷止工 10基 法面工 A=277m2 〔工期：H21～H29〕	横ホ'-リング工 L=426m	水路工 L=424m 谷止工 2基	横ホ'-リング工 L=8,574m 水路工 L=2,100m 谷止工 10基 法面工 A=277m2	評価時 (当初) H21	19.9%	計画どおり進んでいる。 H23年度から新規ブロックに着手し、H24年度も引き続き対策工を行い、事業の進捗をはかる。	平成20年融雪期に地すべりが活発化し、上部人家へ拡大する可能性があることから、引き続き対策工を行う必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=2.96				
	4億4000万円	2789万6千円	4500万円	3億5248万6千円	緊急性 A	住民参加状況等 水路工清掃、草刈等の協働作業を行っている。					
36	たの 田の入 〔長野市〕	横ホ'-リング工 L=5,370m 水路工 L=500m 土留工 V=72m3 〔工期：H22～H30〕	横ホ'-リング工 L=150m 土留工 V=72m3	横ホ'-リング工 L=675m 水路工 L=250m	横ホ'-リング工 L=5,020m 水路工L=350m	評価時 (当初) H22	9.8%	H23年度に対策工に着手し、H24年度も引き続き対策工を行い、事業の進捗をはかる。	平成21年7月に地すべり災害が発生した箇所であり、災害箇所周辺にも地すべり兆候が見られることから、早期に対策を行う必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	H24変更 工期4年増				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.39				
	3億2000万円	2177万7千円	3300万円	2億8878万3千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策			補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
37	しもきたあ 下北尾 〔小川村〕	集水井工 N=1基 法面工 A=15,200m2 横ホ-リング工 L=3,400m 水路工 L=1,400m 杭工 N=30本 アソカ-工 N=44本 〔工期：H16～H24〕	法面工 A=4,000m2 水路工 L=300m	アソカ-工 N=44本	アソカ-工 N=44本	評価時 (当初) H16	88.0%	計画どおり進んでいる。 H24年度にアソカ-工を施工し、概成とした い。	平成15年度に発生した地すべり災害箇所の対策を実施しており、地すべり活動が活発化すると重要交通網等に直接被害が及ぶ恐れがあるため、引き続き対策を行い平成24年度概成を図る。	平成24年度での概成を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H15年度災害関連緊急対応箇所				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.99				
		7億5028万円	1億393万2千円	9000万円	9000万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
38	あじまめ 味大豆 〔小川村〕	横ホ-リング工 L=3,000m 集水井工 N=1基 水路工 L=500m 谷止工 1基 〔工期：H21～H25〕	横ホ-リング工 L=560m 水路工 L=20m	集水井工 N=1 基	横ホ-リング工 L=1,568m 水路工 L=255m	評価時 (当初) H21	36.9%	計画どおり進んでいる。 H24年度も引き続き対策工を行い、事業の 進捗をはかる。	平成20年融雪により、地すべり活動が活発化したことから、継続して対策を行う必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.24				
		1億5000万円	1477万9千円	3000万円	9460万2千円	緊急性 A	住民参加状況等 明治18年に地元住民により自主的に組織された砂防惣代が今に至り、120年余にわたり土砂災害の巡視等維持管理活動に参加している。				
39	かくらあが 神楽岡 〔小川村〕	横ホ-リング工 L=5,200m 水路工 L=1,145m 谷止工 N=4基 〔工期：H23～H28〕	調査測量設計 1 式	横ホ-リング工 L=450m 谷止工 N=2基	横ホ-リング工 L=5,200m 水路工 L=1,145m 谷止工 N=4基	評価時 (当初) H23	6.1%	計画どおり進んでいる。 H23年度に調査測量設計を行い、H24年度 は対策工に着手する。	平成21年7月の豪雨で地すべりが発生した。次期降雨により地すべり活動が更に活発化する可能性があることから、緊急性が高い。	重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項				
						重要性 A	特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.96				
		2億4000万円	1456万4千円	2000万円	2億2543万7千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	11 地すべり対策			補助・単独別	補助	建設部	砂防課		
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
40	おちあい 落合	集水井工 N=30基 横溝・リソウ工 L=1,415m 排水トンネル工 L=385m 水路工 L=2,000m (工期:H14~H25)	集水井工 N=1基	集水井工 N=1基 水路工 L=100m	集水井工 N=5基 水路工 L=300m	評価時 (変更) H22	91.6%	計画どおり進んでいる。 引き続き対策工を行い、事業の進捗をはかる。	当地すべり地の土砂 流出による下流域の 被害は甚大であり、土 塊の動きが顕著なた め、今後も継続的な観 測及び対策工事が必 要である。	重要性が高く必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
	(山ノ内町)	29億円	1億4111万円	7500万円	2億4384万円	必要性 A 重要性 A 効率性 B 緊急性 A	特記事項 H13年度災害関連緊急対応箇所 H22年度再々評価工法見直して継続 B/C(費用対効果)=1.14 住民参加状況等 特になし。				
40箇所		123億6668万8千円	13億249万円	15億9733万7千円	61億3986万4千円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				